

今月の

5冊

看護のための
ファシリテーション

中野民夫・浦山絵里・森雅浩 編著

学び合い
育ち合う
組織のつくり方あなたも、
チームも、
元気になろう!

医学書院

看護のための
ファシリテーション
学び合い育ち合う組織のつくり方中野民夫、浦山絵里、森雅浩＝編著
本体2400円＋税
医学書院 ☎03-3817-5650

人が集まり何かを一緒に考え創造するとき、前向きな相互作用を引き出して、学び合うことを支援するファシリテーション。その第一線に立つ3人の著者が、看護の「人材育成」と「組織開発」を主な目的に、ファシリテーションの理念とスキルと実践を丁寧に解説する。対話と支援を大切にする「ファシリテーター型リーダー」必読の1冊。

対話と承認のケア
ナラティブが生み出す世界宮坂道夫＝著
本体2400円＋税
医学書院 ☎03-3817-5650

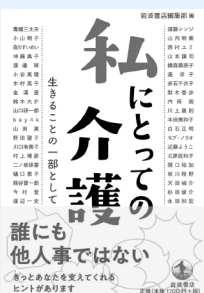
人の物語に触れることが、なぜケアになるのか。20年にわたりナラティブを研究してきた著者が、ナラティブに対する誤解を解くことから始め、〈ケアする私〉〈ケアされる私〉、また「解釈」「調停」「介入」をキーワードに、なぜナラティブがケアになるのかを解き明かしていく。ナラティブ・アプローチ探究の決定版。

社会的処方

孤立という病を地域のつながりで治す方法

西智弘＝編著
本体2000円＋税
学芸出版社

認知症・うつなどの根底にある社会的孤立。医療の枠組みだけでは対処できないこの問題への解決策として、「地域の人のつながり」を提案する「社会的処方」が今、注目を集めている。制度として導入した英国の事例や、日本各地で始まった取り組みを紹介し、「リンクワーカー」として踏み出すヒントが満載。

私にとっての介護
生きることの一部として岩波書店編集部＝編
本体1700円＋税
岩波書店 ☎03-5210-4000

少子高齢化や社会保障費の抑制が進む中、介護やケアの在り方も多様性を増している。誰もが当事者となり得る社会の到来を踏まえ、各界の40人が自身の体験や現状への問題提起を綴る。それぞれの切り口で語られる介護から、「あなたにとっての介護」が見つかるはず。医学書院の〈シリーズ ケアをひらく〉の著者らも寄稿。

マンガでわかる
拘縮を予防・改善する介護技術田中義行＝著、梅熊大介＝漫画
本体1800円＋税
中央法規 ☎03-3834-5817

介護をする側・受ける側の双方が「つらさを感じる拘縮」。本書では、理学療法士である著者が、拘縮の基礎知識から筋性拘縮・神経性拘縮・疾患ごとのケアまでをマンガでわかりやすく解説。利用者の「身体状況」を把握し身体的に正しく介助することで、利用者も介助者も「楽」になる。拘縮の予防と改善に役立つ1冊。